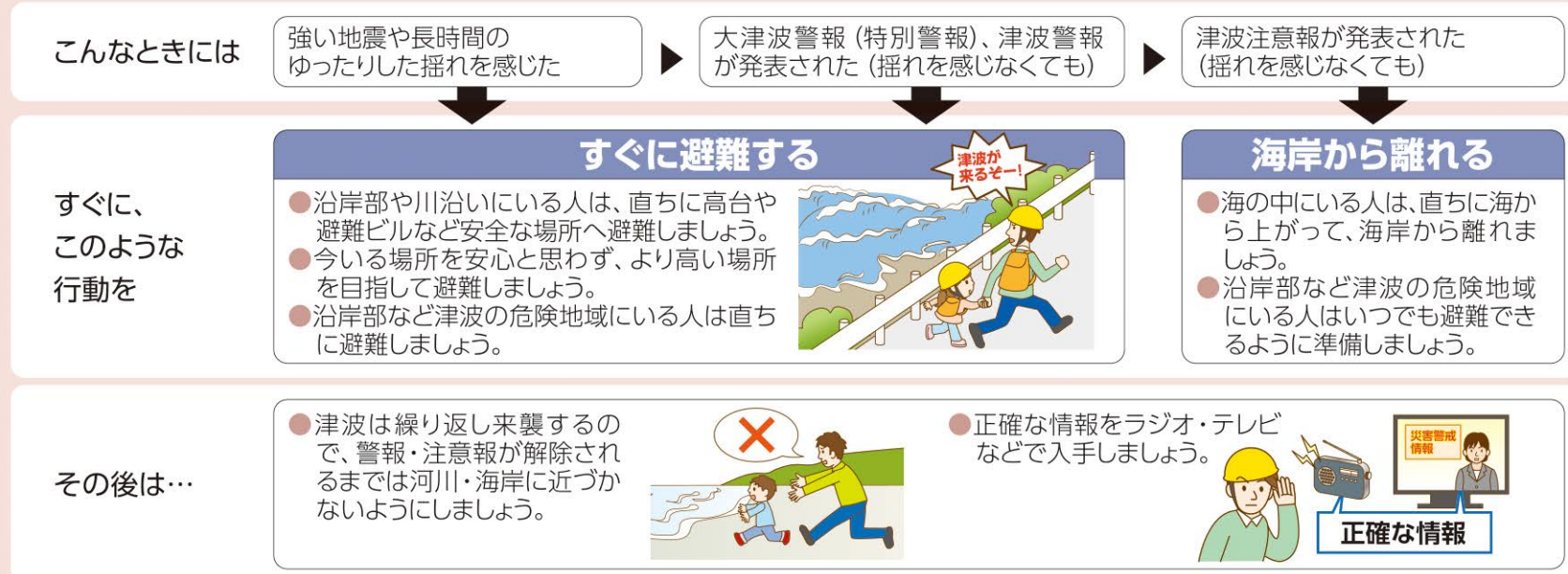


# 津波から命を守る行動

強い地震や長く揺れた場合は津波は来るものと考え、直ちに高台など安全な場所への避難を始めてください。“自分の命は自分が守る”を意識し、「強い地震＝津波＝すぐ避難」を決して忘れないようにしましょう。

## 命を守る津波対応チャート



## 津波から命を守る三原則

### 原則1 想定にとらわれるな

相手は自然、その想定を超える事態も当然あり得ます。

### 原則2 最善を尽くせ

「ここまで来ればもう大丈夫だろう」ではなく、そのときできる最善の対応行動をとりましょう。

### 原則3 率先避難者たれ

まず自分が率先して避難しましょう。その姿を見て、ほかの人も避難し、結果的に多くの人を救うことにつながります。

## 津波からの避難のポイント

### 地震の揺れが小さくても津波は来る

揺れがそれほどでなくても津波が起こるケースは、過去にもしばしばありました。津波の危険地域では小さい揺れでも、揺れを感じなくても、まずは避難を最優先すべきです。



### 引き潮がなくても津波は襲う

津波の前には潮が引くと言いますが、前触れとして必ず引き潮があるとは限りません。引き潮がなくても、津波が襲ってくることはあります。



### 「遠く」よりも「高く」へ

すでに浸水が始まっていて、安全な高台に避難できないときは、遠くよりも高い場所に逃げるのが原則です。



### 原則として徒歩で避難する

避難は徒歩が原則であることを確認しましょう。渋滞や事故の発生、緊急車両の通行の妨げになります。



## 津波ハザードマップ

神奈川県が平成27年3月に公表した「津波浸水想定図」を基に、浸水区域、浸水深及び避難所等を示したマップです。

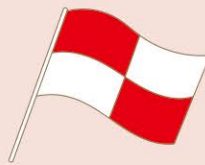


←マップはこちら  
防災関連マップ  
>葉山町津波ハザードマップ

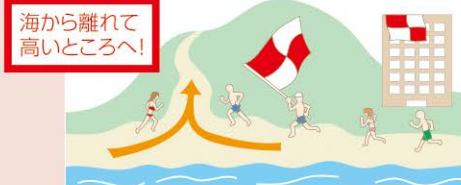
## 津波フラッグ

「津波フラッグ」は大津波警報、津波警報、津波注意報(以下、「津波警報等」という)が発表されたことをお知らせする旗です(令和2年6月から運用開始)。

「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障がいをお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。



津波フラッグ



海から離れて  
高いところへ!

## 葉山町内の津波対策関連表示物



津波避難経路  
誘導路面シート



設置例



海拔表示版



海拔表示柱

自宅周辺を  
確認してみよう。